

舌癌再建術後の機能に対するリスク因子解析

①対象

2009年1月～2013年12月に舌癌に対して舌再建手術を受けた方

②研究機関名

代表施設：静岡県立静岡がんセンター 再建・形成外科（責任者：中川雅裕）

分担施設：大阪大学医学部附属病院形成外科（責任者：久保盾貴）、岡山大学医歯薬学総合研究科形成再建外科学、国立がん研究センター東病院形成外科、愛知県がんセンター中央病院形成外科部、東京慈恵会医科大学形成外科など

③目的と意義

舌癌切除後に舌再建術を行い、術後嚥下機能や会話機能の向上を行っていますが、経口摂取ができない患者さんや誤嚥の危険性から気管カニューレが挿入されたままの患者さんがいます。このような方々では著しく術後、生活の質（QOL）が低下することとなります。このような患者さん方を把握してその原因を明らかにし、対策を講じることにより、生活の質（QOL）を向上させることが可能となると考えています。

④方法

舌癌に対して舌再建を施行した患者さんの診療録から必要な情報を収集させていただき、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。なお、診療情報はすべて個人が特定できないように匿名化して使わせていただきます。ご自分の診療情報を研究に使わないで欲しい、というご希望がありましたら、担当医までご相談ください。ご不明な点がありましたら、主治医にご相談ください。

⑥プライバシー

本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。

⑦問い合わせ先

研究責任医師：形成外科 講師 久保 盾貴

連絡先：大阪大学医学部附属病院

06-6879-5530